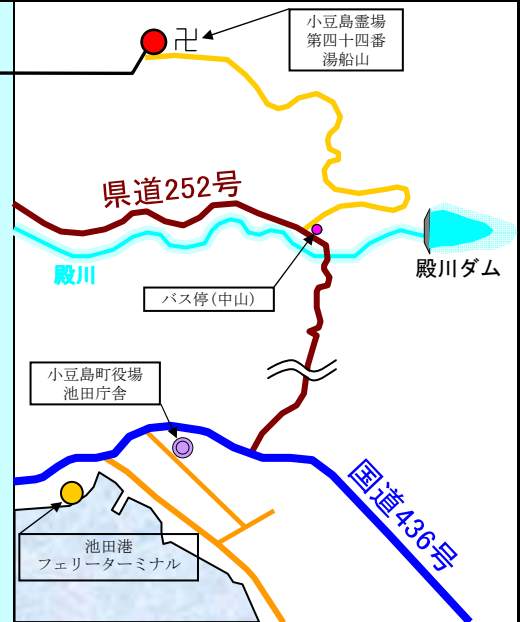


# 湯船の水 (ゆぶねのみず)

## 位置図



「湯船の水」は小豆島八十八ヶ所霊場の1つである、湯船山 <sup>ゆぶねさん れんげ</sup> 蓮華寺 (44番札所) の境内にあり、環境省選定の「名水百選」や、香川県選定の「さぬきの名水」10ヶ所の内の1つにも選ばれた名水であります。

ここから湧き出る水の温度は一年を通して一定であり、冬には湯気が立つこともあることから「湯船」の名が付いたとも言われています。

また、小豆島最高峰の星ヶ城山 <sup>ほしがじょう</sup> に築かれた星ヶ城の城主であった佐々木信胤 <sup>ささきのぶたね</sup> が、南北朝時代に島を襲った大干ばつによる飢餓の危機をこの湧水によって救われたことから、ここに仏堂を建立し、霊水として奉ったといういわれもあります。

1日に約400tの水が湧き出ているこの湧水の水源ともなっている湯船山社叢 <sup>しゃそう</sup> は、県の自然記念物にも指定されており、クス・アベマキ・カゴノキ・イブキビヤクシン・カヤ等の大樹が生い茂る山林の中に湧き出る水は、どんな干ばつの時も涸れることがない貴重な水源として、山腹に広がる千枚田(「日本の棚田百選」指定)を潤すだけでなく、地域の簡易水道の水源としても利用され、また「共同洗場」では、今でも地域住民によって、湧水から直接引き込まれた水が農作物の洗物等に利用されています。

境内から見下ろす一面に広がる千枚田の絶景と共に、ぜひ一度訪れてご覧になってください。



湯船の水



千枚田

「湯船の水」を利用した共同洗場